

令和5年度 つぼみ保育園 事業計画書





1 基本方針 ～強く～

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で縮小していた活動を元に戻す1年とする。新しい生活様式を取り入れつつ、本来のつぼみ保育園の特徴である様々な活動、行事を再開し、こどもたちに多くの体験、経験をさせ成長に繋げていきたい。

引き続き、職員のキャリアアップに努めそれぞれが得意分野や専門分野をより深く学び保育の質の向上、職員の質の向上に努めたい。

玄関で行っていた送迎を保育室内に戻した事で保護者とのコミュニケーションの機会も増えた為、こどもの育ちの共有や様々な情報提供を心掛けていきたい。

今年度のスローガンである「強く」の通り保育理念、保育目標を強く意識しより良い保育提供を心掛けたい。

園長 岡本由美

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

- ・保育目標への導きと、こどもの育ちを見越した保育計画を立てる
- ・こどもが落ち着いて遊び込める環境設定を行う
- ・長期的計画を持った取り組みを園全体で楽しむ
- ・感染症拡大時に備え新型コロナウイルス感染症拡大予防の際の保育方法を記録に残し、伝授していく

〈2〉 地域子育て支援事業

- ・地域の子育て拠点として機能し、役割を果たす
(施設開放・子育て相談・育児講座・交流保育・絵本貸し出し・一時保育事業)

〈3〉 保護者への支援

- ・家庭との連携を密に行い、育ちの中でこどもが心身共に健やかに成長する事こそ保護者支援と考える
- ・個人面談による相談(含アレルギー食対応面談)
- ・園だより・クラスだより・保健だより・給食だよりの発行や、日々の活動報告
- ・メール配信システムによる緊急連絡や、保育報告の充実
- ・毎日の活動記録、ホームページを活用し、園の様子を公表する
- ・保育中の写真販売
- ・地域の子育て支援に目を向ける

〈4〉 職員の育成

- ・専門職としてスキルアップを重ねることにより豊かなこどもの成長を助長できる保育者を育てる
- ・キャリアアップを目指し、専門性を高める為の研修に参加できるようにする
- ・業務、行事担当、係活動、クラスリーダー、専門リーダーとしての役割を理解し組織の一員として全体を把握できる力を養う
- ・外部研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める
- ・研修報告を兼ねた園内研修による知識の共有
- ・保育理念の継承等後輩育成を意識的に行う
- ・主任、副主任は保育現場に入り、保育者、こどもと密接に関わる事で園の課題に気づき解決に努める

〈5〉 SDGs への取り組み

- ・園全体での取り組みのほか各クラス年間指導計画に組み入れ、遊びから学びのつながりの中で意識できる環境を整える
- ・自家製野菜、米作り、味噌作りを通して食べ物の大切さを学び残食0を目指す



2 児童定員

0 歳児	1 歳児	2 歳時	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
8 人	10 人	12 人	12 人	12 人	12 人	66 人



3 開所時間

- ・月曜日～金曜日 7：00～20：00
- ・土曜日 7：00～18：00



4 職員配置

	保育士	栄養士	調理員	保育補助	事務員	看護師	用務員	その他
常勤	17 人	2 人	2 人	1 人		1 人		2 人
パート	8 人				1 人			1 人

5 運営方法

〈1〉 つぼみ保育園の運営管理を行う為に以下の会議を開催する

会議名	頻度	主な内容
全体ミーティング	月1回以上	研修報告・行事計画・振り返り・保育目標・計画の評価
昼ミーティング	週1回	給食喫食状況・クラス報告・事務連絡・看護師連絡 ・主任連絡・園長連絡
リーダー会議	不定期	緊急連絡事項発生時等
運営委員会	年3回	保護者の意見を取り入れた事業、保育、行事計画作り

〈2〉 月の行事担当を設置し職員全員が参加し運営する

〈3〉 各種係を設置し職員が参加し運営する

6 保育方針・環境設定

〈1〉 保育目標

年齢	主な内容
0歳児	・個人差に応じた生理的欲求を満たし、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの発達を理解し、個々に応じた保育を行う。 ・衛生的で安全な環境で、個々の生活リズムを大切にし、基本的生活習慣を身に付ける。
1歳児	・様々な経験や探索活動の中から、言葉を獲得できるようにする。 ・安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが育めるようにする。 ・生活リズムが安定し、食事・排泄・着替えなど、生活習慣の自立の芽生えを育てる。
2歳児	・安全に注意し、友達との関りを大切にすると共に、自分で出来る事を増やしていけるようにする。 ・自然に親しみ、様々な遊びや体験を通して、色々な物への好奇心や興味を持てるようにする。 ・言葉で表現する喜びを味わえるようにする。
3歳児	・友達との関わりの中で自分の思いを表現し、相手の思いを知ろうとする気持ちを育む。 ・様々な活動に意欲的に参加し、のびのびと園生活を楽しめるようにする。 ・自分の要求や思いを言葉や行動で表現できるようにする。

4歳児	・集団生活における約束や社会のルールの大切さを知り、守ろうとしながら生活していけるようにする。 ・様々な経験からできた喜びを持てる環境を作る。 ・活動のイメージを膨らませ、見通しを持って取り組めるようにする。 ・十分に体を動かす環境作りを心掛ける。
5歳児	・友達と協力して目標に向かって取り組み、やり遂げる達成感や充実感を味わえるようにする。 ・基本的生活習慣の確立を目指す。 ・就学に向けて、必要な生活習慣を身に付けられるようにする。 ・自分の良さに気付き自分に自信を持てるようにする。

- ・毎週火曜日 英語教室「スパイク&アイ」
- ・隔週金曜日 サッカー教室「セイント フット」
- ・月1～2回 フィットネス「セイント フット」
- ・月2～3回 運動指導 當銘恵美子講師

<2> 年間行事計画

- ・別紙「令和5年度 年間行事予定」に掲載

<3> 給食・食育計画

- ① 給食試食会の実施（年1回）
- ② 行事食・お誕生会メニューの実施
- ③ 0歳児は初期・中期・後期食、3種類の献立を作成
- ④ 離乳食開始時の面談実施
- ⑤ 給食日誌と検食の実施
- ⑥ 栄養士、保育士が週に1回以上給食会議を実施し、献立作りへ反映
- ⑦ 1歳児クラス以上児は食育活動を実施
- ⑧ 衛生管理の徹底
- ⑨ 身体測定による健康管理
- ⑩ アレルギー除去食の対応については横浜市策定「保育所における食物アレルギー対応」に準じ、「つぼみ保育園アレルギーマニュアル」に従い実施する
- ⑪ 畑で作った旬の野菜を用いた食育活動を行う
- ⑫ 年間食育計画の作成
- ⑬ 日本の郷土料理を給食に取り入れる
- ⑭ 世界の伝統料理を給食に取り入れる
- ⑮ 畑を作り米栽培に挑戦する

<4> 保健計画

保健だより	月1回 発行
園児健康診断	年2回（5月・11月）
歯科検診	年2回（5月・11月）
視聴覚健診	年1回：3歳児
尿検査	年1回：3・4・5歳児
職員健康診断	年1回：全職員
職員検便	月1回：全職員

※年間保育計画参照

<5> 各種点検

危機管理	安全点検	毎日：各クラス
	避難・消火訓練	各月1回ずつ
	不審者侵入訓練	年2回
	救急救命訓練	月1回
衛生管理	園内消毒作業	毎日
	掃除チェック表	毎日2回
健康管理	健康観察	毎日：健康観察ノートに記入
	身長・体重測定	月1回

<6> 環境整備

- ① 日々の清掃業務を分担して行い、定期的な業務は担当者が確認し、行う。園庭、室内の環境整備は随時必要に応じ補修、整備を行う
- ② 戸外活動時は水たまり確認や石拾いなど危険無く過ごせるように整備を行う
- ③ エコの精神を忘れず、創意工夫を図る
- ④ エレベーターは24時間監視システム導入
- ⑤ 年2回の専門職による保守点検
- ⑥ 年1回の消防署立ち入り調査

7 危機管理

〈1〉 防災計画の作成

- ・「災害対策マニュアル」掲載
- ・「非常災害時における安全確保のためのつぼみ保育園の対応」作成
- ・BCP（事業継続計画）の作成

〈2〉 避難訓練・消火訓練・不審者侵入対策訓練・救急救命訓練・通報訓練の計画と実施

- ・「避難・消火・通報・救急救命訓練簿」にて計画、振り返りを記録
- ・「不審者訓練記録簿」にて計画、振り返りを記録

〈3〉 戸外活動時のハザードマップ

- ・「災害対策マニュアル」掲載、お散歩マップにて保護者にも周知

〈4〉 門扉二重施錠・玄関扉セキュリティー電子キー施解錠システム

- ・門扉施錠の徹底を保護者にも周知
- ・電子キー施解錠カード使用、管理の徹底を周知

〈5〉 送迎者申告欄の徹底と把握

- ・事前を送迎者の登録。登録者以外の送迎は登録者から要連絡。

〈6〉 ヒヤリハット報告・傷・怪我記録報告書による事故防止

- ・「事故防止マニュアル」・「プール遊びマニュアル」掲載
- ・職員会議にて怪我の報告、原因分析、振り返りを行う

8 実習生・ボランティア・職業体験の受け入れ

- ・養成校の実習生受け入れ・インターンシップの受け入れ等



9 職員育成と研修計画

〈1〉 職員育成

- ・「つぼみ保育園ガイドブック」を配布し、業務全般、書式の統一を図る
- ・R4年度受審の第三者評価を機にすべてのマニュアルを見直し職員周知を行った
- ・「覚えておいてください～つぼみ保育園職員心得～」周知

〈2〉 園内研修

- ・月1回以上実施。外部講師による講習や、外部研修の研修報告を行う。
- ・専門リーダーによる指導のもと保育実践を行い、振り返りをして保育の質を高める

全 体	・園内研修（月1回） ・研修発表 ・救命救急研修（必須）	・アレルギー及びエピペン実践研修 ・虐待の現状と見守り、保護者対応 ・あそび（運動・リズム・絵本読み聞かせ・玩具）
初 任 者 向 け	・初任者研修 ・児童虐待対応研修 ・食物アレルギー研修	・絵本読み聞かせ研修 ・救命救急研修
中 堅 向 け	・年齢別発達特性研修 ・障害児保育研修 ・就学に向けて意見交換会	・エリア交流会 ・運動遊び研修
ベ テ ラン 向 け	・マネジメント研修 ・乳児保育研修 ・幼児保育研修 ・障害児保育研修	・食育・アレルギー対応研修 ・保健衛生・安全対策研修 ・保護者支援・子育て支援研修 ・保育実践
看 護 師	・救急救命研修 ・看護学 ・アレルギー対応研修	・衛生管理研修 ・感染症予防研修 ・障害児研修
調 理	・食育研修 ・栄養管理研修	・食物アレルギー緊急時対応研修会 ・エリア研修会（離乳食・育児講座・情報交換他）
主 任 ・ 管 理 階 層 向 け	・保育士スキルアップ研修 ・幼保合同研修 ・保育の専門性に基づく環境構成研修 ・アプローチカリキュラムの作成と地域施設との連帯、交流の実践 ・保育施設におけるリスクマネジメントとその為のコミュニケーション研修 ・自己評価実践発表会	・幼保小連帯研修 ・子育て支援研修会

〈3〉 外部研修

- ・横浜市主催研修をはじめ各専門講師による研修参加

〈4〉 エキスパート研修受講計画

- ・個々のキャリアを活かして、より専門性を高め、このスキルアップを図り、職員 全体の質の向上を目指す

〈5〉 自己評価

- ①園の評価項目を決定する （4 月）
- ②個人で今年度の課題を立てる （4 月）
- ③中間で自己評価、振り返り&後半の課題を立てる （9 月）
- ④1 年を振り返り自己評価 （3 月）
- ⑤保護者アンケート （年2～3回）
- ⑥④と⑤を踏まえ、保育所の自己評価 （3 月）
- ⑦集計・公表 （3 月）



10 地域交流

- ・地域とのふれあいを心掛け、地域に根差し、地域資源として利用して頂き、お役に立てる存在となりたい。また、地域に守られ、頼られる保育園でありたい。

〈1〉 幼保小交流保育

- ・隣接する保育園、幼稚園、小学校との保育交流
- ・年長児が就学に期待が持てるよう計画する
- ・交流時に卒園児の成長も見守る

〈2〉 世代間交流

- ・在園児の祖父母対象に交流会の計画、実施
- ・隣接する老人施設の敷地内にある畑を借用し、花や作物の成長を共有して楽しむ
- ・隣接する老人施設のお年寄りとのふれあいの時間を持つ



11 地域子育て支援

- 〈1〉 施設開放 ・月に1回～4回火曜日に園庭を開放（9：30～11：00）
- 〈2〉 交流保育 ・園児と一緒に食育体験をする
・園児と一緒にリズム遊びに参加する
・園児と一緒に芋掘りを体験する
- 〈3〉 育児講座 ・発達時期に必要な運動機能の話を聞き親子で身体を動かす
・栄養士による乳児食講座
・栄養士による離乳食講座
- 〈4〉 一時保育 非定型・緊急・リフレッシュ共に11時間実施。0～5歳児対象
- 〈5〉 絵本の貸し出し 一人2冊まで、一週間の貸し出し期間とする
絵本を機に子育てに悩みがないか等言葉を交わす



12 障害児・要支援児計画

- ・個別計画を作成し、支援事項をミーティングや引き継ぎノートにて周知する
- ・専門機関との連携を図り、対応の仕方を家庭と共有して支援していく
- ・保護者の気持ちに寄り添い、共にこどもの成長を喜ぶ



13 要望・苦情・相談窓口の仕組み

- ・要望・苦情・相談の解決の流れを「つばみ保育園重要事項説明書」に明記し、保護者に周知していく
- ・「ご意見箱」を設置し、保護者が気兼ねなく投稿出来るようにする

相談・苦情受付 担当者	氏 名 岡本 由美		
	電話番号 045-360-0202		
相談・苦情解決 責任者	氏 名 古谷 敬		
	電話番号 045-360-0202		
第三者委員	榎 佳子	民生委員	電話番号 045-392-2238
		児童委員	
	見崎 明子	当園相談役	電話番号 090-6566-1724